



Disaster prevention Expert News

東北地方 防災エキスパートだより

2006.9
vol.8

発行:平成18年9月29日

東北地方防災エキスパート事務局 TEL.022-268-4454((社)東北建設協会内)

国道7号の通行止めで市民等からの問い合わせ対応を行いました



7月13日夜半に発生した鶴岡市国道7号土砂崩落による全面通行止めに際して、防災エキスパートの方4名が7月14日17時～7月15日15時の間、2名一組で一般市民等からの迂回路等の問い合わせなどの電話の応対を行いました。

夜を徹しての対応となった方もおられ大変ご苦労さまでしたが、出張所の方々は復旧作業に全力を尽くすことができ、大変助かったこと思います。

活動していただいた「遠藤 敏」様から対応の状況などをご投稿いただきましたので紹介します。

7・14 対応について！

7月13日、県公告の施工計画書を淡々と作成していた。施工場所は旧温海町である。図面と現場のイメージを照らし合わせ考え込んでいた。天気予報は「大雨洪水警報発令中」である。

夕刻、日々欠かせない5：5の水割りを心地よく口に含み自分だけの世界へ埋没し掛かった頃、連れ合いより「国道止った様だよ！」と…しかし、時遅し“沈没”

翌14日、早朝より被災現場の情報がTV等で流れおり昭和の最後を送った担当出張所職員のご苦労ぶりが想像された。そして社では昨日の校正等し、昼のTVで概要が完全に把握できた。

昭和62年に温海災害を経験したこともあり災対本部の1時間は現場の10分間であるのを痛感していた。

16時も過ぎそろそろ今晚もと思った16時28分酒田事業所長より「温海の災害知っているよね！」…「酒田河国事務所長より防災エキスの電話対応要請があった。」…「行ってもらえるかな？」…「わかりました。」と一言返事である。

結果、作業服に着替え一路西進し17時10分出張所着。(迅速である。自画自賛)

直ちに所長へ申告し概要説明及び現状の交通規制等のレクを受け指定席へ着席、即、CALL。ア！電話機の取り扱いが解らなかった。

21時頃までの問い合わせは多かったが、以下一部内容として。

- ・明日、墓参りに行くのだが…(工！…？？此処は新盆であった。)
- ・今、規制している処を通ったが誰もいなかった(支所の防災無線での誤報)
- ・携帯サービスでは8時に開放なるとなっているが本当か(何処かにエラーがあった。)
- ・新潟まで行くが何時に通れるか(R-113の大型車事故の運転手?)

しかし、何故かお叱りの電話は皆無であった(広域対応した広報の結果)

- ・災対本部よりの電話では応対者の顔が見えず困惑しておった様子。

問い合わせも殆どなく丑の刻時の睡魔との葛藤では勝利を納め、東の空が白み始めた申の刻時の煙草の美味しさは格別であります。

6時過ぎ頃より問い合わせが入り対応しておりましたが一番辛かったのは大凡の開放時間は情報として知っておりましたがR-113への迂回案内でした。

9時！交代の方との引き継ぎを終え一路連れ合いの待つ我が家へ…

今の感想(9/6時点)

- ・事業所長が真面目にやっているか視察に訪れた。(本当は心配してた)
- ・違和感なく受け入れてくれた出張所職員(有り難う)
- ・ボス(出張所長)は一睡もしなかった。(素晴らしい)
- ・監督官のフォローは心強く思った。(ナイスコンビネーション)

そして、近接に迂回路の無い重要路線がもたらす経済効果の波及を身をもって感じさせられた今回の災害であった。

最後になりましたが我々防災エキスパートとして、お世話になった国土交通省へ何らかのお手伝いが出来た事に対し嬉しく思つておる次第です。



建設通信新聞で防災エキスパート活動が紹介されました

東北建設協会は、東北地方の

- ・最近の防災エキスパート活動状況は?
防災エキスパート活動の概要(活動内容、活動場所、活動期間等)を記入。例題: 1月度: 1月度に実施した活動の概要。
例題: 2月度: 2月度に実施した活動の概要。
例題: 3月度: 3月度に実施した活動の概要。
例題: 4月度: 4月度に実施した活動の概要。
例題: 5月度: 5月度に実施した活動の概要。
例題: 6月度: 6月度に実施した活動の概要。
例題: 7月度: 7月度に実施した活動の概要。
例題: 8月度: 8月度に実施した活動の概要。
例題: 9月度: 9月度に実施した活動の概要。
例題: 10月度: 10月度に実施した活動の概要。
例題: 11月度: 11月度に実施した活動の概要。
例題: 12月度: 12月度に実施した活動の概要。



- ・東北建設協会のサポートとはどんなこと?
東北建設協会は、西海岸で活動に問題的な技術エキスパート活動を行うことをめざすように、防災エキスパートの実験場を設けています。そのような事務手続きを行なう。

1. 防災エキスパートの万葉の小屋問題等の提供
2. 防災の効率化や出山、道路整備問題等の

1. 地域活性化のための修復会員の選定
2. エキスパートへの地域活性化に任せる実験
3. 作業内容やヘルメット等の装備、貸出文庫
4. 防災エキスパート活動に対する毛細血管的等の加入実績
5. などの支援をすることで、公益法人として東北地方の安全・安心のための活動を県側からサポートしています。

「安全・安心」のための活動をサポートします。

災害の現場などで、
こんな雑草をしている人を見かけたら、
それは「防災エコスパート」です。



新日本製鉄 管原 久一郎氏に贈る



経験生かし地域社会に貢献

現場通じ技術を伝承

7月11日発行の建設通信新聞に東北建設協会の広報が掲載され、その中で防災エキスパート制度と防災エキスパートの活動及び東北建設協会の活動に対するサポートについて紹介されました。

理事長はインタビューの中で、防災エキスパートの活動は経験を生かし地域社会に貢献し、東北地方整備局の防災業務支援につながり、東北地方が安全で安心して暮らせる環境づくりの一助となると共に、現場を通じて技術の伝承となっていると述べました。

能代河川国道事務所管内で道路防災点検が行われました



8月28日に能代河川国道事務所管内で、道路ふれあい月間行事の一環として道路防災点検が行われ、6名の防災エキスパートの方々が参加され、きみまちトンネルや桂城地下道など6箇所を点検しました。



仙台河川国道事務所管内で出水時等状況把握訓練が行われました



仙台河川国道事務所管内の4出張所で、防災エキスパート15名が参加して出水時等状況把握訓練が行われました。

6月23日（岩沼）、26日（名取川）、28日（角田）、29日（仙台海岸）の日程で行われた訓練では、管内重要水防箇所の説明や無線機、GPS携帯、カメラなどの取扱訓練の後、現場での状況把握訓練が行われました。

その後出張所に戻り暗闇での撮影訓練を行ったり、現場で気付いたことに対する対応策などを話し合い、さらに出張所側でエキスパートにお願いしたいことやエキスパート側からみてできると（あるいは出来ないと）考えていることなどの意見交換がなされました。

その他の活動について

- ・湯沢河川国道事務所では6月7日ロールプレイング方式の危機管理演習を行い、2名の防災エキスパートが参加しました。
 - ・6月13日、15日、27日に北上川ダム統管、秋田、湯沢、能代、山形、酒田、新庄、福島の各事務所で洪水対応演習が行われ13名の防災エキスパートが参加しました。
 - ・6月19日、20日、23日、7月5日の4日間に亘り、例年実施されている新庄河川事務所管内の各出張所の土砂災害危険箇所等点検が行われ、事務所、地方自治体、消防、警察の職員及び水防団員と共に防災エキスパート8名が参加しました。
 - ・郡山国道事務所管内の西会津町の国道49号が大雨のため路肩盛土法面が崩落し、7月17日～18日にかけ防災エキスパートの方2名が延べ3日間、仮復旧工事の現場指揮を行いました。
 - ・山形河川国道事務所管内の河川、道路の各出張所では、6月19日から8月30日までの間の7日間に防災エキスパートとの意見交換会を開催しました。27名のエキスパートが延べ36日に亘って参加し、現地調査の後意見交換会及び懇親会を行いました。道路系出張所との意見交換会はあまり行われておりませんが、有効な活動のためには必要なことと思われます。

編集後記

今回のエキスパートだよりは、6～8月の活動状況を掲載しました。この間の災害対応は、鶴岡市の国道7号の土砂崩落と西合地区国道49号の法面崩落と二件の道路災害でした。いずれも一つ間違えば多くの人命を失う大災害となる恐れがある災害でしたが、幸いなことに電車やバスなどが巻き込まれることなく、人的被害が無かったことは幸いでした。

それ以外にも防災エキスパートの方々は雨の中、また猛暑の中、防災箇所点検や語る会など多くの活動を行っていただき本当にご苦労様でした。注意を促すにはいさか時期を逸してしまってますが、猛暑による熱中症は倒れるまで当人が体の異変に気が付かないこともあるやっかいなものだそうです。来年以降の盛夏の活動は一層のご注意をお願いします。(防災調査部長 刀禰 賢記)



- このパンフレットは古紙配合率100%の再生紙を使用し、印刷には大豆油インクを使用しています。